

# 農村女性がつなぎ・かがやく 滋賀の「食と農」魅力発信事業【滋賀県】

総事業費	3,145 千円
交付金額	1,393 千円

## 地域の実情と課題

- 近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、「人のつながり」の大切さが再認識されるとともに、都市部において新しい生活様式や消費スタイルが浸透し、田園回帰など農業・農村への関心が高まっている。
- 一方、滋賀県では農業従事者の減少や高齢化により、農村地域での活動が弱まりつつあり、コロナ禍を経てその傾向がさらに進むことが懸念されている。
- また、農業・農村の活性化には女性の力が重要であるが、本県の農業・農村における女性の参画は十分とは言えない状況である。

## 目的・目標

### 【目的】

農村女性と都市部の消費者がつなぎ、「食と農」の魅力を発信し、共感するファンを創出し、縁が生まれ、そのファンの拡大が農村女性のさらなる活躍につながることで、農村女性、本県農業・農村がかがやくこと。

### 【目標】

セミナーと現地ツアーの参加人数 120名（結果：R4年度末 約154名）  
事業を通じて新たに農村女性のコアなファンとなった人数 40名  
（結果：R4年度末 36名）

## 事業の特徴

- ①SNS等による情報発信・・・食や農業に関心のある都市部の消費者に滋賀の農村女性について知る機会を提供するとともに、事業公式Instagramで農村女性に関する情報を発信し、②③で実施するイベントの参加者をつなぎを維持することができる。
- ②セミナー・・・農業や食に関心のある都市部の消費者を対象に、農村女性の人間性や想い、活動内容を伝え、農村女性の想いへの共感や活動を応援する気持ちを醸成することができる。
- ③現地ツアー・・・セミナーの参加者が農村女性の活動現場を見学し、日々の作業を体験することで、農村女性とのつながりが深まりファンになってもらうことができる。

## 連携団体

しが農業女子100人プロジェクト

## 事業の効果

- セミナーと現地ツアーには計190名が参加し、各回ごとに実施した参加者アンケートでは、どの回も満足度100%であった。
- セミナー実施により事業公式Instagramのフォロワー数が増加し、セミナー参加者に農村女性の魅力を継続的に感じてもらうことができた。
- セミナー参加を経て現地ツアーに参加した都市部の消費者は、農村女性の想いへの共感や現地での見学・体験を通して農村女性とのつながりが深まり、農村女性を応援するファンとなった。

## 今後の課題

- 農村女性のファンとなった消費者が継続してファンであるための工夫が必要である。

農村女性（6名）

SNSを活用した魅力発信

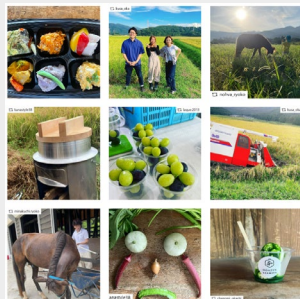
セミナー

湖北



くさおか農園  
田中真由美氏

農村女性の投稿のリポストと事務局による発信を実施。

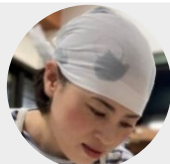


高島

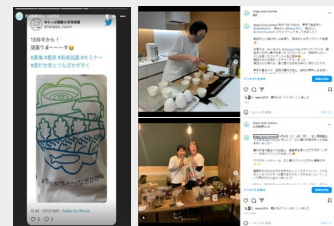


農馬有限会社  
水口良子氏

甲賀



茶のみやぐら  
樋口真理子氏



東近江



近江園田ふぁーむ  
飯盛加奈子氏



はらっぱ農園  
原田麻美氏

動画撮影

農村女性の紹介動画を作成し、YouTubeに掲載。



「食」と「農業」に関心のある都市部の消費者を対象に、滋賀の農村女性の魅力を知ってもらうセミナーを大阪と東京で3回実施。

- 10月2日(日) ルディックワーク 参加者 約50名
- 11月5日(土),6日(日) 玄味庵 参加者 86名
- 11月12日(土) 東京セミナー 参加者 18名



現地ツアー

主にセミナーに参加した「食」と「農業」に関心のある都市部の消費者を対象とし、滋賀の農村女性の活動現場を訪れ、日々の作業等を体験する現地ツアーを3回開催。

- 11月27日(日) 原田氏・樋口氏 参加者 10名
- 12月3日(土) 漆崎氏・飯盛氏 参加者 13名
- 12月10日(土) 田中氏・水口氏 参加者 13名

